# 湘南フォーラム絆

## どう守る地域の安全

府川　正明 議員

### 地域の治安確保

**問**　本市もいくつかの交番が統廃合されている。地域の治安を確保していくための取り組みを伺う。

**市長**　平塚市防犯協会及び平塚警察署との連携が大切だと考える。防犯パトロールや子どもの見守りなど、地域住民の防犯意識の向上を図る防犯キャンペーンや防犯教室などを実施しており、地域住民との連携を深めていくことで、地域の安全を高めていきたい。

### 子どもを守る取り組み

**問**　「子ども110番の家」は、2008年末には全国に約209万か所あったが、2023年には約144万か所に減少した。核家族化が進み、子どもだけになる時間が増えている。学校の防犯教育と地域防犯をリンクさせ、防犯への意識を高める必要について伺う。

**市長**　各学校では児童生徒の発達段階に応じて、日常生活に潜むさまざまな危険を予測・回避し、安全な行動ができるよう防犯教育の充実に努めている。地域の防犯活動の一つとして、PTAや地域ボランティアと通学路の危険箇所を共有し、登下校時の見守り活動を行っている。安全な地域づくりを進めるため、自治会や保護者と協力して、地域の防犯マップを作成するなどの活動が効果的である。

### 脱炭素化への取り組みは

**問**　ひらつかコツコツプランの成果を伺う。

**環境部長**　ひらつかコツコツプランは、市民の意識啓発を目的に取り組みを宣言するものであり、令和6年度は多くの宣言があった。

## 平塚市の環境政策

臼井　照人 議員

**問**　脱炭素社会と新たな循環型社会の構築に向けた取り組みと成果を伺う。

**環境部長**　主な取り組みとして、「平塚市環境基本計画」に基づき、ひらつかコツコツプランやZEHの促進を図った。また、生ごみの減量化、食品ロス対策の取り組みを進めた結果、1人1日当たりのごみ排出量は大幅に減少し、令和12年度の目標を達成している。

**問**　啓発活動や協働の取り組みの効果的な事例と、今後強化していく点を伺う。

**環境部長**　ごみの減量化及び資源化は、ごみ減量化推進員と連携し、啓発活動を実施している。また食品ロス対策は、民間団体と連携し、市役所本館で毎月フードドライブを開催しており、寄付される食品量が増加している。一方、可燃ごみの中に資源物が混入している事例もあるため、今後も分かりやすい分別方法を市民に情報発信していく。

**問**　「平塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」のCO2の排出削減が改定された。目標を達成するための施策を伺う。

**環境部長**　公用車の電動化や照明器具のLED化、公共施設の屋根を使った太陽光発電設備の設置のほか、プラスチックごみの再資源化を進めていく。

**問**　今後の主力となり得る代替補完的なエネルギーをどのように捉えているのか伺う。

**環境部長**　環境省は再生可能エネルギーの導入支援を目的にポータルサイト（REPOS）を公開しており、本市は太陽光発電が有効との結果であった。他の再生可能エネルギー技術の有効性が高まるまでは、太陽光発電を中心に導入を進めていきたいと考えている。

**問**　廃油を使ったバイオマス発電を取り入れることについて見解を伺う。

**環境部長**　廃食用油に限らず、バイオマスでの発電について実現可能であればいいと考える。

**問**　再生可能エネルギーの促進地域や規制地域について伺う。

**環境部長**　まだそういう段階ではないが、区域指定している自治体があることは承知しており、慎重に考える必要がある。

豊かな暮らしと脱炭素につながる取り組みへの意識が広がってきていると考えている。

**問**　脱炭素化に関する補助の対象と、今年度追加された内容を伺う。

**環境部長**　「平塚市環境基本計画」における温室効果ガス削減の取り組みとして、平成30年度からZEHの導入に対し補助を実施した。7年度は、既存住宅の断熱リフォームへの補助やV2H充放電設備、家庭用省エネ給湯設備を補助対象に追加した。

### 平塚市水産物地方卸売市場の今後は

**問**　平塚市水産物地方卸売市場と周辺整備事業の進捗状況を伺う。

**市長**　民設民営化については、卸売業者が市の支援を受けながら進めるとし、令和6年度に「平塚市地方卸売市場整備基本計画」を策定した。卸売業者と関係企業から成る協議会からは、卸売市場を含む周辺施設の再整備に関する提案がされ、市は公平性、公正性、透明性を確保するため、公募型プロポーザル方式を視野に入れた検討が必要と判断した。

### スマート農水産業

**問**　これまで水産業の申請はないとのことだが、今後の取り組みを伺う。

**市長**　今後も平塚市漁業協同組合と連携し、スマート水産業に関する最新情報などを提供しながら、漁業者の要望を適切に把握していく。

▼**このほかの質問**　無電柱化　ヤングケアラー

## 新時代に向けてさらに輝くまちへ

山原　栄一 議員

### コミュニティ交通や次世代のモビリティ

**問**　導入は、現在の延長で考えるのではなく、未来から現在を俯瞰した取り組みに転換するチャンスと考えるが、見解を伺う。

**まちづくり政策部長**　コミュニティ交通は路線バスを補完するもの、次世代モビリティはコミュニティ交通の手段の一つとして、導入を検討する。

### 大雨でも浸水しないまちづくりに向けて

**問**　昨年の台風10号の被害を忘れてはいけない。大雨に対する市長の思いを伺う。

**市長**　昨年、台風などの大きな災害にしっかり対応するための補正予算を計上した。具体的に対策を進め、職員も共有しながら対応に努めていきたい。

### 令和6年台風10号被害の対策状況は

**問**　河川の対策状況を伺う。

**副市長**　金目川の片岡地区吾妻橋下流左岸と鈴川の岡崎地区大畑橋上流は、河川管理者の県により応急復旧を完了した。本復旧工事は、金目川の片岡地区は7月末完了、鈴川の岡崎地区は秋頃開始の予定である。

**問**　浸水対策の状況を伺う。

**副市長**　特に被害が大きかった6地区に雨水桝の増設工事を進めており、徳延、河内、平塚3丁目地区は7月中旬に完了予定である。また街路樹がある路線では、落ち葉対策用のグレーチング蓋への交換を進め、南原、御殿、中原地区は作業が完了した。

▼**このほかの質問**　重層的支援体制の構築に向けて

## 会議録は８月下旬に公開

本会議や各常任委員会での質問や答弁などは、会議録にまとめて公開しています。

６月定例会の会議録は８月下旬から公開します。市議会ホームページや各地区の公民館、各図書館などでもご覧になれます。

## インターネット中継

本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。

各議員の質問内容を詳しく知りたい方は、市議会ホームページからアクセスしてください。議員、会派、ことばなどを検索して映像を選べます。

録画中継は発言日のおおむね１週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。

## 声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ
**議会局**　☎21-8791

## 湘南フォーラム絆　所属議員

久保田　聡 議員

出村　光 議員